

生物機能開発学セミナー

演題：植物レギュロンバイオテクノロジー、持続可能な成長のために

要旨：増え続ける世界人口、急速に進む地球温暖化、将来直面する化石燃料の枯渇に対応するため、植物バイオテクノロジーの発展が必要不可欠である。我々はとくに転写因子に注目して、新技術の開発やそれを用いた応用展開を行ってきた。たとえば CRES-T 法は、多重遺伝子破壊株と同様の表現型を作り出すことができ、機能未知の転写因子の機能解明に貢献してきただけでなく、その成果を活かした商品開発も視野に入ってきている。また、改良酵母ワンハイブリッド法やプロトプラストを用いた網羅的アッセイ法は、興味ある生命現象を制御する転写因子を高効率に見つけ出すことができる。また、最近では、これらの技術を活かした具体的開発事例として木質の大規模改変にも取り組んでいる。本セミナーではこれらの全体像を概説し、新たな共同開発の可能性を模索したい。

講演者：光田 展隆 氏（産業技術総合研究所 主任研究員）

日時：平成27年9月4日（金）15：30～16：30

場所：生物生産学部C314講義室

本セミナーは大学院の5研究科共同セミナーとなります。

教員、院生、学部生を問わず多数ご参加ください。

連絡先：藤川（生物圏科学研究科、内線7928）